

自民党 県会報告

第191号

9月県議会 定例会

会期 9月 9日(月)~
10月 3日(木)

新しい福島を切り拓く!

9月定例会は、9月9日から10月3日までの25日間の日程で開会され、令和元年度一般会計補正予算などについて審議し、予算に関する議案や意見書など66件を可決いたしました。

自民党議員会からは代表質問1名、一般質問4名、総括質問1名が登壇し、復興と地方創生を更に前進させるための、県の施策についていただきました。

一般会計補正予算の主な内容については以下の通りです。

令和元年度一般会計補正予算 90億6,100万円

【主な内容】

- ・双葉町における帰還者向け災害公営住宅等整備促進事業(8,826万円)
- ・外国人観光客の更なる誘客を促進する福島インバウンド復興対策事業(1億4,262万円)
- ・福島空港へのチャーター便運航を支援した利活用促進(6,600万円)
- ・子育て家庭の経済的負担を軽減するための幼児教育・保育の無償化(20億65万円)

自民党議員会が提出し可決した意見書

- ・トリチウム水の適切な処理と新たな風評が生じないよう徹底した対策を求める意見書

ふくしま自民党LINE配信中

党活動や県議会活動など様々な情報を発信しています。
あなたのLINEのお友達にもぜひ紹介してください。

LINE@

登録はこちらの
QRコードから



代表質問(令和元年9月11日)



自民党議員会を代表して、議会運営委員長の勅使河原正之議員(郡山市選出)が登壇し、代表質問を行いました。

- ①国際社会に対して本県の正しい情報をどのように発信していくのか

A 内堀知事

環境回復や食の安全安心の取組などの情報を幅広く発信し、震災の苦難から復興へ着実に歩む福島の現状を正確に認識していただくことが重要であり、国との連携を密にしながら、福島の最新状況を正しく理解していただけるよう努める。

- ②若い世代を対象とした移住・定住促進への取組は

A 企画調整部長

首都圏等の若者をターゲットとして、地域の特性をいかした新しい働き方・暮らし方、ふくしまチャレンジライフを提案する新たなモデル事業の実施など、本県とつながる新しい人の流れづくりにより、移住・定住の促進に一層取り組む。

- ③外国人住民の生活相談体制の整備についてどのように取り組むのか

A 生活環境部長

今年度は、相談員の拡充や多言語翻訳機等の導入により対応言語を11言語に増やすほか、協会ホームページの内容を充実し、スマートフォンでどこからでも必要な情報を入手できるよう利便性の向上を図る。

- ④農業と林業の連携による中山間地域の活性化への取組は

A 農林水産部長

ふくしま林・農連携モデル創出事業により、地域で産出した薪を燃料として活用する菌床しいたけ栽培等を導入し、冬期間の収入と通年雇用の機会を確保するとともに、化石燃料の使用量削減に努め、地球にやさしい農林産物であることをアピールしながら販路拡大につなげる取組を支援する。

自民党議員会の活動

各種団体要望聴取会(9月2日~3日)

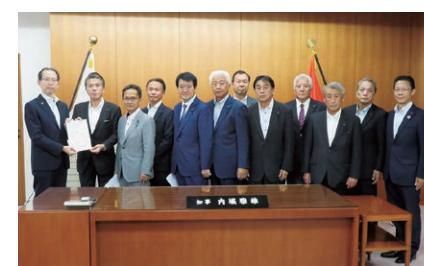
自民党議員会は9月2日から3日にかけて、令和2年度県予算編成に対する要望聴取会を行いました。6つの部会に分かれて、計68団体の皆様から要望を聴取し、意見交換を行いました。

今回拝聴した要望項目については、各部会で十分検討し、11月に行う知事申し入れに反映させてまいります。

これからも自民党議員会は、各団体皆様のご要望が実現できるよう努力してまいります。



入札制度の改革へ



自民党議員会では、今年3月に「入札制度改革検討会」を設置し、県内企業が健全経営を維持出来るよう安定した受注機会を確保するための「入札制度

改革に係る要望書」をとりまとめました。

10月3日、知事に対して地域の実情に応じた入札制度改革がなされるよう、強く求めました。

児童虐待根絶!



自民党議員会では、「未来ある子どもたちを虐待から守る県づくり」を進めるため、今年3月、プロジェクトチームを設置し、児童虐待防止条例の素案を作成いたしました。

県議会において、児童虐待の防止について、幅広い議論を開いていくため、9月18日、児童虐待防止条例の制定に向けた検討会の設置を議長へ要請しました。